

機能食品通信

第26号

発行 (株)機能食品研究所

今回のテーマ

・手書きイラストと、梅田。

・手書きPOPの書き方講習会に行きました。



機能食品研究所、梅田です。いつも大変お世話になっております。

「私もハードディスクの故障に泣いたことがあります。」「同時にこのハードディスクに保存される外付け機器が2万円前後で買える事、参考になりました。」「皮膚測定会場の内覧会、行きますね。」「内覧会の日、別の予定があるので残念ながら行けません。また開催する日を教えてください。」「いつも緑色の(機能食品通信)を楽しんでいますよ。」「と
 いうお便り・メール内の追伸・お言葉をいただきました。こつこつと皆様からコメントを寄せていただけます事、心から感謝しております。

■手書きイラストと、梅田。

「最近の機能食品通信のイラストは、どなたが担当しているの?」「と
 いう質問をいただく事があります。 あれは梅田が書いております。

機能食品通信8号の通り、昨春までイラスト作成を担当してくれていたスタッフさんは海外留学のため退職。その時、数ヶ月先の分までイラストを作っておいてくれました。

おかげさまで、その時に企画していた臨床試験の被験者(モニター)さんへの説明書類や、機能食品通信のイラストに不自由しませんでした。そのうえ、そのスタッフさんから、イラストや広告原稿などを作る時に使う『イラストレータ』というソフトの使い方基礎を教えて貰ったので、既存イラストや、既存の雑誌広告データの簡単な加筆修正なら出来ます。たとえば、機能食品通信のトップ絵の『梅田の似顔絵イラスト』の持ち物や衣装を加筆修正しているだけなのです。

その数ヶ月後、機能食品通信12号内の『映画キャッツ&ドッグス2を観てきました。』という話題で、眼鏡をかけたビーグル犬のイラストが必要になりました。新たに1から書き起こすと真っ白なパソコン画面に線を1本ずつ書き始めましたが、絵心・センスの不足から、5分程度で断念。紙にボールペンで書いてスキャナで取り込んだものを掲載。その絵を見られた方々から「お風呂でリラックスしている時に、眼鏡ビーグルの姿を思い出します。癒し系



の絵かもしれませんね。』『ネクタイしてます』という補足説明が面白い。記憶に定着するね。」「味(あじ)がありますね。」「というコメントをいただきました。

この「味がある」という言葉を聞き、大学時代の事を思い出しました。

機能食品通信15号に少し書きましたが、私の大学時代の担当教官の先生は『準備・実験・試験行程のチェックリストを作っておき、現場でよくチェック(完了)マークを入れるという手法』をされていらっ

しゃいました。これが有れば細かな設定や手順通り行なったという記録にもなりますし、チェックリストの作成をしている時に一度はイメージトレーニングが出来ているので実験の精度が高くなります。そして、その

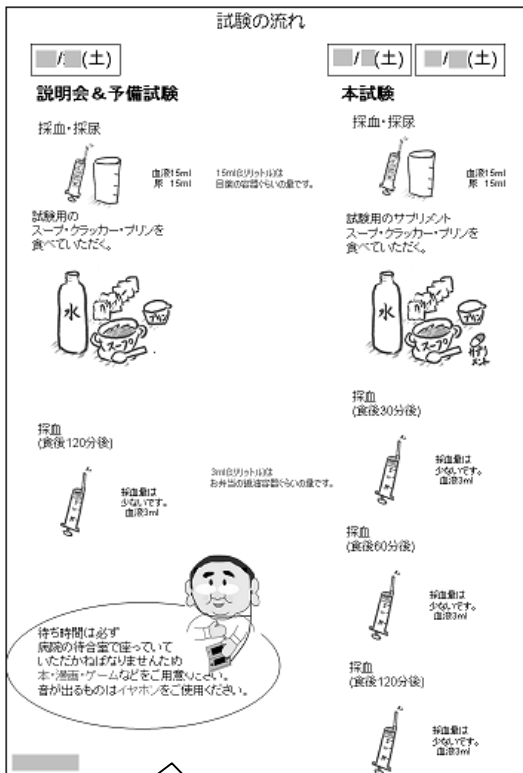
話は続きがございまして、それらを毎回手書きで書き起こされていらっ

っしゃいました。ワープロ書きよりも手書きの方が、お勧めとの事です。その先生から実験の指導をしていただく時も、先生が手書きチェック

リストを用意してくださいました。次からは梅田ひとりでの実験ができるようにと、私は手書きで自分のノートに写しました。大人数で行う授業の実習ではなく、私の研究のための実験専用チェックリストと思うと、ありがたさ(嬉しさ)も倍増です。【文字・文章】から【注意すべき点の説明イラスト】まで丁寧に書き写しました。このように模写をする

という事は、私も【注意すべき点の説明イラスト】を手書きで描くことになりま。先生のイラストは綺麗・的確・スマートです。私が真似をして書いたものは・・・。それを見た方々が口を揃えて「なんか、味が有る。」「と言うのです。その中の1人、大学の同級生のN氏に「味がある」という意味を辞書で調べたが『かみしめて知るような』物事のおもむき『面白み』とある。つまり悪い意味では無いね。」と聞いたところ肯定の回答を得られたため、画力は気にせず手書きイラストを続けようと判断。

その時代から今に至るまで大体において伝えたい事は伝わっている様子なので、しばらくは手書きでサツとかいたものをスキャナで取り込むこの方法を続けようと思っております。



説明書類もイラスト入りです。

「これらの効果的な使い方も教えて貰えるかも。」と嬉しくなりました。

まずは、「JTBの心に止まる」味のあな文字^{あな}を書く方法の説明で、実際に書いてみる演習で

す。次に、相手に伝えたい物・サービス・内容をリストアップし、何を

載せるべきかの精査の方法。キャッチフレーズの作成方法。効果的な文

字・イラストの配置方法についてでした。

実際に書いてみる演習は参加者の皆さんが自社の物・サービスを例として使って作成するという、実践に則した内容だった事も相乗効果となり、会場全体から真剣な雰囲気伝わってきました。

最後、参加者各自の机を講師の先生が見てまわり、先生が手にとって皆さんに見せながら「とても分かりやすいですね。ここはこうしたらいいかがですか?」などと評価されるのです。「なに、あのイラスト。皆さん上手すぎる。」と心の中で驚き、自分が書いたPOPをソッと裏返して上に本を重ね、先生の目にとまらぬようにうろ隠し通した梅田でした。



筆ペンで書いています。

【news】国際かゆみシンポジウム(10月29日)にて、痒み測定機械について発表されました。弊社も一緒に研究をさせていただいております技術です。三重大学医学部 皮膚科様、同工学部 ナノセンシング研究室様

回覧・印

最後のページまでお読みいただき、ありがとうございました。差し支えが無ければ回覧いただけると幸いです。

【news】先月号で告知いたしました通り、新しくなった皮膚測定会場の内覧会(11月22日)を行いました。お越しいただきました皆様、今回行けないけど行きたいというご連絡をくださいました皆様、ありがとうございました。内容・様子については次月号にて。

【news】第62回 日本皮膚科学会中部支部学術大会 花王様共催ランチョンセミナー(11月20日)「アトピー性皮膚炎患者ならびに乾燥皮膚に対するスキンケアー皮膚や口唇の保湿ケアの考え方と方法」(三重大学医学系研究科 皮膚科学 教授 水谷仁先生)のご講演で、弊社が受託しましたヒト試験のスライドをお使いいただきました。ありがとうございました。

【news】第62回 日本皮膚科学会中部支部学術大会(11月19日~20日)にてポスター発表で一緒にさせていただきました、ありがとうございます。乾燥肌に対する柔軟剤処理肌着の有用性」花王(株)様、三重大学医学部 皮膚科様、同臨床創薬研究学講座様、同附属医院臨床開発センター生物統計部門様、(株)機能食品研究所